

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和 2 年 2 月 22 日 報告者：藤田 智洋

行事種別	研究会	行事番号	190030575
開催日	令和 2 年 2 月 15 日 (土)		
時間	開始	15 時 00 分	終了 17 時 00 分
場所	リップルスクエア (所在地 名古屋市東区)		
テーマ	令和元年度愛臨技精度管理事業、病理検査業務における新人教育		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点		
司会	小牧市民病院	藤田 智洋	
講師	公立陶生病院	柚木 浩良	
	藤田医科大学病院	川島 佳晃	
	名古屋第二赤十字病院	長田 裕之	
	名古屋大学大学院	橋本 克訓	
内容	<p>「精度管理報告 細胞部門」柚木 令和元年度愛臨技精度管理・細胞部門の結果報告が行われた。フォトサーベイ 10 症例について詳しい解説がなされた。また、同時におこなったギムザ染色アンケートの結果報告も行われた。</p> <p>「精度管理報告 病理部門」川島 令和元年度愛臨技精度管理・病理部門の結果報告が行われた。フォトサーベイ 10 設問について詳しい解説がなされた。また、同時に行ったアンケート調査の結果報告も行われた。</p> <p>「職場における新人教育の現状について」長田 自施設の教育方法紹介と他施設の状況をまとめ報告が行われた。病理検査では多くの工程を経て標本作製されるが、各施設での教育順序、各工程での教育方法が紹介された。また、新人技師からの意見も紹介され今後の指導の参考になった。</p> <p>「卒前教育における臨地実習について」橋本 教員の立場から養成校での教育方法の報告が行われた。臨地実習の目的、実習単位の変更点など臨床検査技師養成所指導ガイドラインをもとに解説がなされた。臨地実習で学生に経験させてほしいことや、教えてほしいことも伝えられた。</p> <p>日臨技の事業計画でも新人教育、認定取得について重点をおかれており、今回の研究</p>		

	会を企画した。現場での教育方法と養成校での教育について解説して頂き、自施設での新人教育、臨地実習生教育の参考になる有意義な研究会であった。
参加者	総数：69名（会員68名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生1名、その他0名）
共催、後援など	

2020.02.22